


平成27年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成28年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	5
2 歴史的まちなみ修景事業	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	7
4 無電柱化調査事業	8
5 無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)	9
6 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	10
7 屋外広告物景観影響調査事業	11
8 しらかわ歴史回廊事業	12
9 小南湖公園整備事業	13
10 都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	14
11 無形民俗文化財活動記録作成事業	15
12 しらかわ無形民俗芸能等支援事業	16
13 伝統的技術伝承事業	17
14 白河歴史教科書作成事業	18
15 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	19
16 白河の歴史 再発見！事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	21
2 文化財の保存・活用を行うための施設	22
3 文化財の防災	23
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	24
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 旧商工会議所 山崎家 歴史的建造物に2件 ほか	25
2 観光名所に再び輝き 市民、歴史ファン歓喜 白河の小峰城復興式 ほか	26
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史まちづくりシンポジウムの開催	27

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	28
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくりの庁内連携・推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置、平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携によるまちづくり推進体制を強化した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり事業の実施にあたっては、文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。白河市歴史的風致維持向上計画協議会、白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議及び調整会議を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部 ・調整会議(平成28年2月23日開催) ・庁内推進本部(平成28年2月24日開催) ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度における計画及び事業の進捗 ・計画の変更 ・歴史的風致形成建造物の指定候補 ・平成28年度事業 			
		庁内推進本部会議	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史的風致維持向上計画協議会 (平成28年2月26日開催) ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度における計画及び事業の進捗 ・計画の変更 ・歴史的風致形成建造物の指定候補 ・平成28年度事業 			
		歴史的風致維持向上計画協議会	

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	南湖公園区域の一部について、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能とするため、歴史的風致維持向上地区計画の策定を進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上地区計画の策定に向けて、南湖公園区域の一部について、都市公園の廃止と編入、自然公園の変更、風致の区域変更等に向けた協議を関係機関と進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○歴史的風致維持向上地区計画策定に向けた取組 松平定信が作庭した南湖周辺に配置された店舗区域について、建築物の用途の緩和、形態・意匠等の制限を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途緩和: 建物の1階部分に、白河地域の農産品等を提供する飲食店等の立地を誘導 ・形態・意匠等の制限強化: 屋根は平入の形状、開口部については木製格子戸などに制限 			
			
○南湖公園湖畔店舗群イメージ			

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況

景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	---

計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

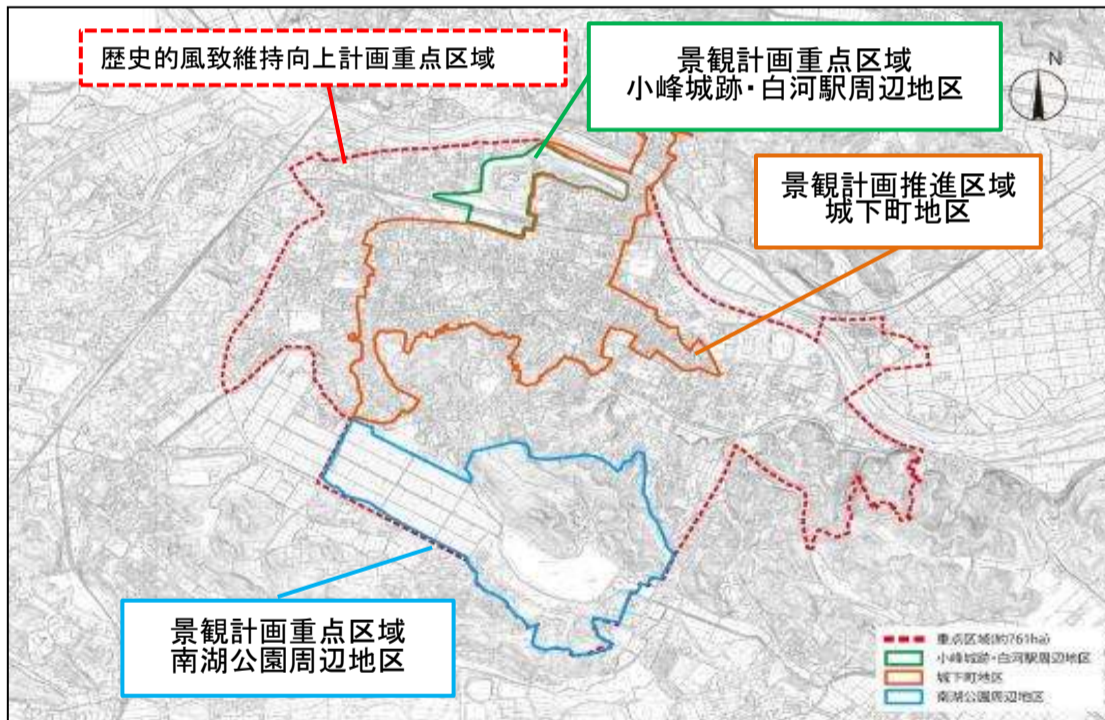
景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。

○平成27年度届出件数:39件(重点区域 2件、推進区域 4件 景観計画区域(重点・推進区域を除く) 33件)
 また、平成27年度は、横町景観まちづくり協議会を設立し、景観まちづくり協定の策定・締結に向け、協議を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



景観計画重点・推進区域図

3. 景観まちづくりについて

景観まちづくりの意義と魅力

- 1-身の回りを中心よさをづくりだす
身の回りを中心よさをづくりだす。身近な空間の美しさを高め、地域に誇りをもたせ、まちづくりを進め、身の回りの心地よさを高めます。
- 2-まちの個性を育む
歴史的・文化的な景観の保全や、まちの新しい魅力を高める等、まちづくりは、おもしろいまちの個性を育みます。
- 3-地域の課題改善に役立つ
地域の個性を、コミュニティの発展などの地域の課題改善にも、まちづくりは役立ちます。
- 4-まちとくんに愛着と誇りがもてる
景観まちづくりを通じて、自分のまちや暮らしのよさを、自分や、後継者が誇れるようになります。

まちや建物における美観

身の回りを中心よさをづくりだす

まちの個性を育む

地域の課題改善に役立つ

高層ビルや新しい建物があふれる

まちとくんに愛着と誇りがもてる

まちや建物に対する魅力

まちづくり協議説明会資料



横町景観まちづくり協議会
(平成27年11月26日開催、第2回)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況

屋外広告物について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成等のため規制を行ってきたが、より本市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成25年4月より、独自の屋外広告物条例の制定に向けた取組みを進め、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行する。
この条例では、景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけている景観計画重点区域等（重点区域、推進区域（城下町地区）、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区）において、屋外広告物の面積、位置、色彩等に市独自の許可基準を設け、屋外広告物の規制・誘導を図っていく。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。

○平成27年度許可件数：300件（新規 28件、更新 258件、変更 14件）

白河市独自の屋外広告物条例の制定に向け、平成25年度より屋外広告物の実態調査を実施し、現況及び課題を把握するとともに、屋外広告物に関する市民アンケート調査を実施し、市民意向の把握に努めている。また、白河の魅力をもっと高めるための屋外広告物のあり方について考え、独自の屋外広告物条例の制定に向けた検討を行うための「屋外広告物のあり方検討懇談会」を設置し、2回の会議（計8回目）を開催し、条例の素案を作成した。なお、条例は平成28年4月に施行した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



屋外広告物のあり方検討懇談会（第7回）

【屋外広告物のあり方検討懇談会委員構成】

No.	所属等
1	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科
2	白河市景観審議会
3	福島県屋外広告美術協同組合白河支部
4	白河市商店会連合会
5	NPO法人しらかわ建築サポートセンター
6	NPO法人子育て環境を考える虹の会
7	Ust白河
8	市民公募
9	市民公募
10	福島県土木部都市計画課

■屋外広告物のあり方検討懇談会
平成25年度

第1回 平成26年3月24日開催

平成26年度

第2回 平成26年7月18日開催

第3回 平成26年9月19日開催

第4回 平成26年11月11日開催

第5回 平成26年12月22日開催

第6回 平成27年3月20日開催

平成27年度

第7回 平成27年9月24日開催

○協議事項

- ・白河市屋外広告物等に関する条例(案)について
- ・今後のスケジュールについて
- ・条例施行後の支援等について

第8回 平成27年11月2日開催

○協議事項

- ・パブリックコメント等の結果について
- ・白河市屋外広告物等に関する条例(案)について
- ・条例施行後の支援等について
- ・今後のスケジュールについて

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金		
計画に記載している内容	平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降は、検証結果をもとに計画的に崩落・変形箇所の修復を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東日本大震災により崩落した石垣のうち、本丸南面、清水門跡、搦手門跡、帯曲輪門跡、帯曲輪西面の石垣積替え工事、および三重櫓、前御門の修復工事が完了した。竹之丸南面、本丸西・北面および雪見櫓の石垣修復工事に着手した。修復工事では、市内の石工職人等も作業に参加し、石積み技術者の育成に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会を5回開催し、指導・助言を得ながら、修復の検討を行っている。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>事業対象地</p>		 <p>竹之丸南面 石垣積替え作業</p>	
 <p>帯曲輪西面 積替え作業</p>		 <p>帯曲輪門 石垣復旧状況</p>	
 <p>雪見櫓跡 上面発掘調査</p>		 <p>第8回 石垣検討委員会(平成27年6月13日)</p>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	--	---

事業期間	平成23年度～
------	---------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)
-------	--------------------------

計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア: 景観形成ガイドラインAゾーン、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、門前通り景観まちづくり協定区域
 ○補助件数: 平成23年度～26年度 16件、平成27年度 2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

建築物の修景(外壁の改修)



施工前



施工後

建築物の修景(屋根の塗替え)



施工前



施工後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

歴史的風致形成建造物保存修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	--	---

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。
 ○歴史的風致形成建造物指定件数:39件97棟
 ○補助件数:平成23年度～26年度 16件32棟、平成27年度 6件7棟

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

屋根・外壁補修(大谷忠吉本店建造物群)



施工前



施工後

屋根補修(旧商工会議所建造物)



施工前



施工後

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧奥州街道である現在の国道294号は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、白河だるま市の開催場所等になっているが、電線・電柱類が祭礼時の運営支障及び景観阻害の要因となっている。このため、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県の関係部署及び市職員により無電柱化事業の先進地(福島県会津若松市、喜多方市)の視察を行い、事業の進め方等を学んだ。また、地元懇談会において無電柱化事業についての説明を行い、地元住民の理解・協力を図った。(2回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">事業位置図</p>		 <p style="text-align: center;">白河提灯まつり運行の支障となっている電線・電柱類</p>	
 <p style="text-align: center;">地元懇談会(平成27年11月25日)</p>		 <p style="text-align: center;">先進地(喜多方市)の街並み</p>	

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道白河停車場線(大手町工区)は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、小峰城三重櫓を視対象とした視点場となっているが、電線・電柱類により、祭礼時の運営支障及び眺望景観が阻害されている。このため、無電柱化整備を実施する。

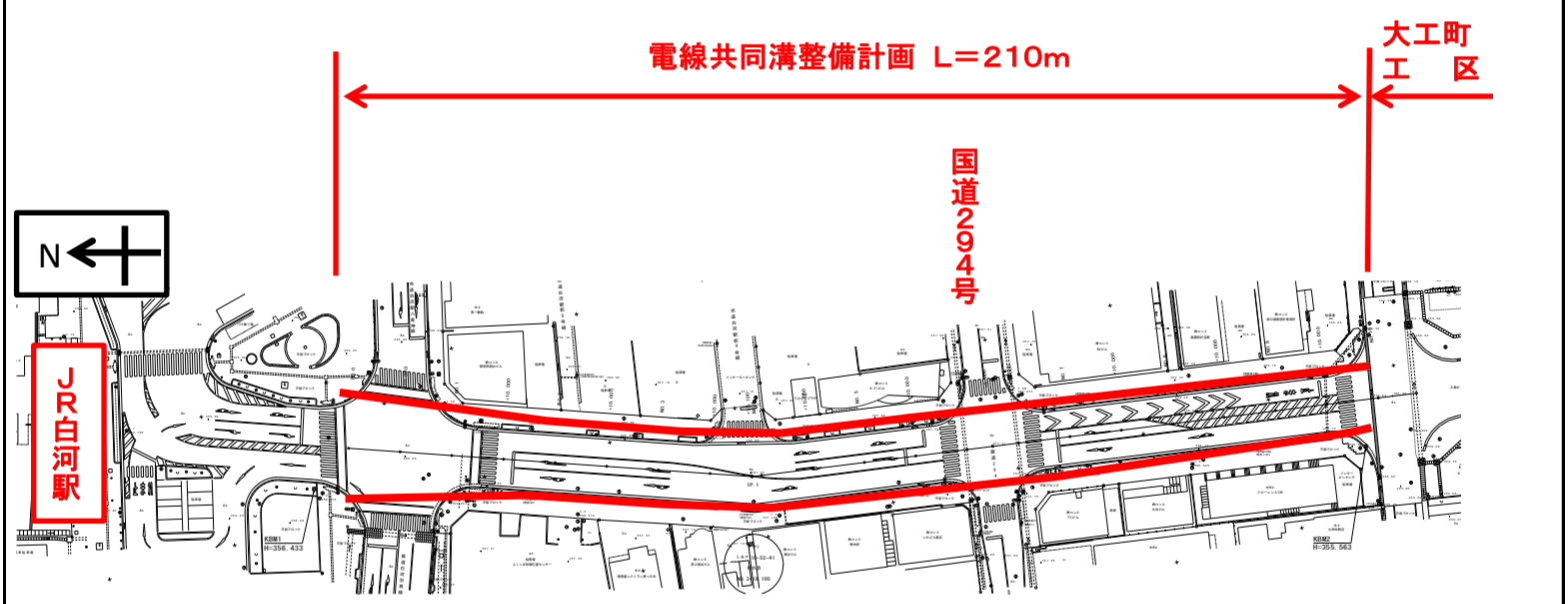
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:電線共同溝整備に係る測量設計を実施。電線管理者と道路占有者(上下水道、都市ガス)との協議実施。
 平成26年度:片側(西側歩道部)について共同溝整備工事を実施(繰越事業:平成27年12月完了)。
 平成27年度:東側歩道部について共同溝整備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



無電柱化に伴う電線共同溝の整備状況

整備前



電線共同溝整備完了(左)
 抜柱後イメージ(右)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度: 整備設計及び用地測量・不動産鑑定・物件調査を実施。
 平成26年度: 用地取得、建物取得(蔵座敷は寄付)を実施。
 平成27年度: 修復工事(基礎補修、床組補修、土壁補修等)を実施(～平成29年2月までの予定)。
 整備後の管理運営、利活用案について、本町町内会等と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

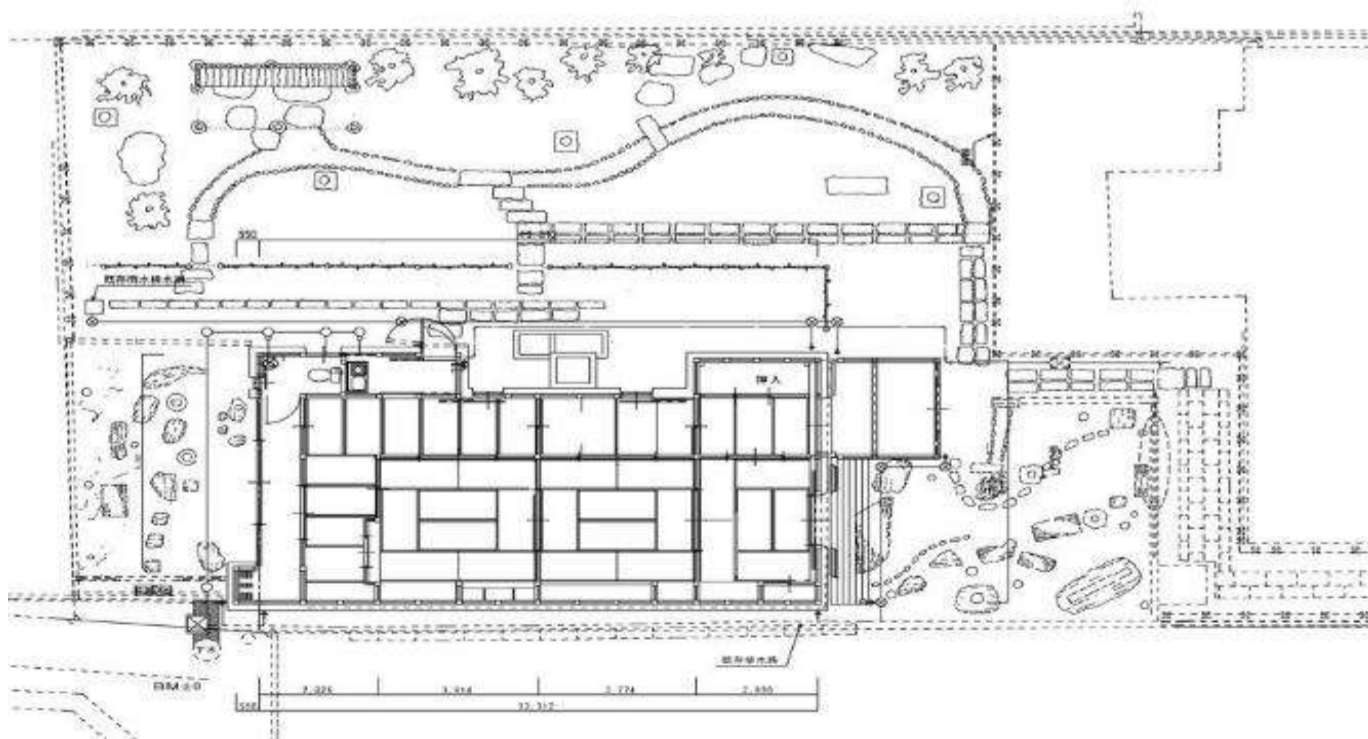
状況を示す写真や資料等



基礎修復中の様子



床組解体完了



全体平面図

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
屋外広告物景観影響調査等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成25年度、平成28年度～) 市単独事業(平成26年度)
計画に記載している内容	屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物表示のガイドライン」を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

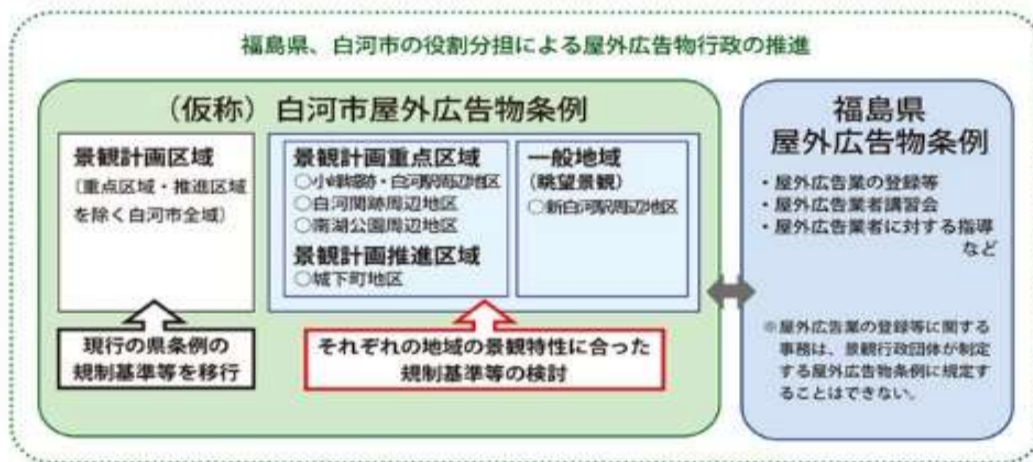
平成27年度は「屋外広告物のあり方検討懇談会」を2回開催し、地域の実情に合った屋外広告物のルールについて検討を進め、独自の屋外広告物条例(素案)の作成を行った。なお、条例は平成28年4月に施行した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

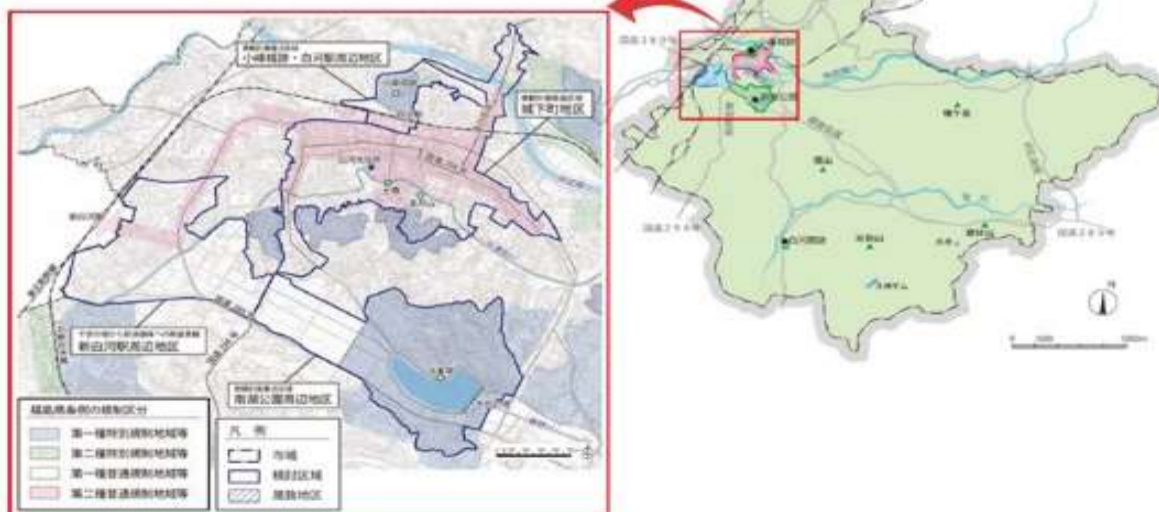
状況を示す写真や資料等

■独自条例のイメージ



■対象区域

- 景観計画区域
- 景観計画重点区域
 - 小崎駅前・白河駅周辺地区
 - 白河開港周辺地区
 - 南湖公園周辺地区
- 景観計画推進区域
 - 城下町地区
- 新白河駅周辺地区



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

しらかわ歴史回廊事業

■実施済
□実施中
□未着手

事業期間 平成24年度～平成26年度

支援事業名 市単独事業(平成24年度～)、社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)(平成26年度)、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業(平成26年度)

計画に記載している内容 歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、ぐるり白河文化遺産ツアーで活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、既存の街歩きマップ等を基に、関係機関と懇談会形式で検討作業を行い、歩行系誘導サイン設置計画を策定した。

平成26年度は、設置計画に基づき30基設置した。

(繰越事業 街なみ環境整備事業 平成27年8月31日完了 14基)

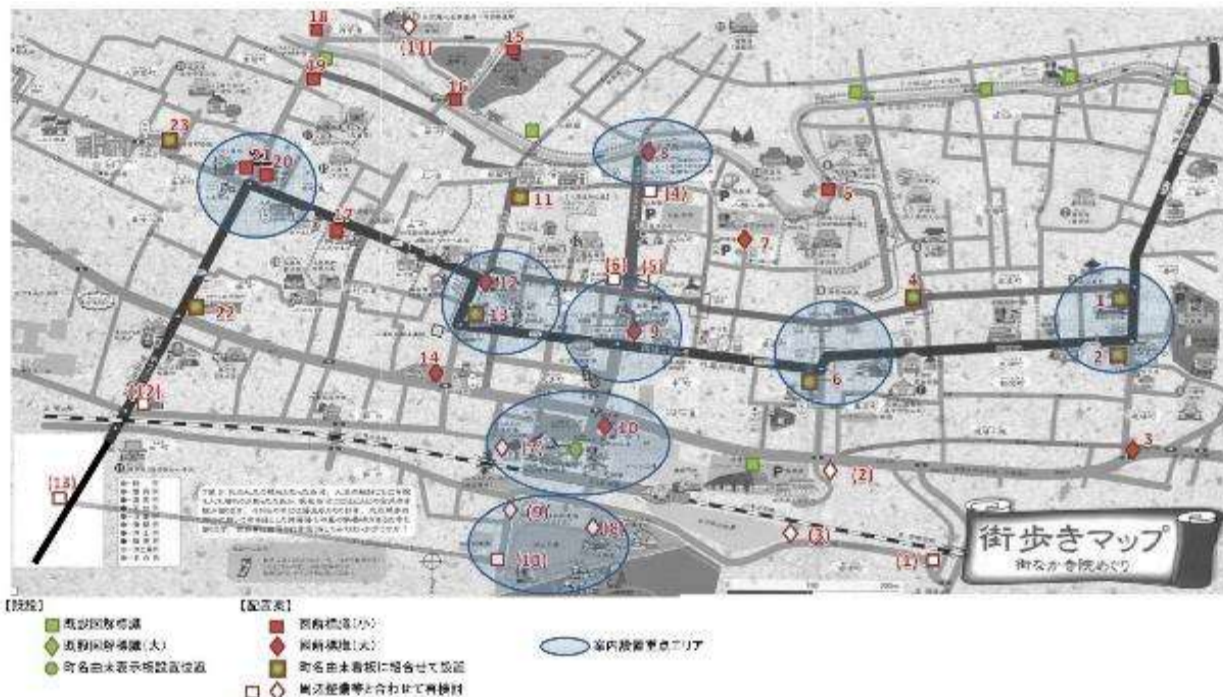
(繰越事業 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業 平成28年3月25日完了 16基)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歩行者系誘導サイン設置計画



設置した案内板



設置した案内板(上部のマップ)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
小南湖公園整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	白河藩大名家墓所(市史跡)が所在する小南湖の丘陵地について、丹羽長重廟に至る園路の整備や森林等の間伐、湖沼の浚渫等を行い、まちなか回遊の拠点となる史跡公園として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度: 現況把握及び整備手法の検討を行うため、現地測量、植物・水生物調査を実施した。
 平成26年度: 整備設計、用地測量、不動産鑑定、用地取得(一部)、湖沼整備を実施した。
 (繰越事業: 平成27年6月11日完了)
 平成27年度: 用地取得(一部)、営林署官舎解体、湖沼整備、森林整備を実施した。
 森林整備、湖沼整備は繰越事業(平成28年9月完了予定)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

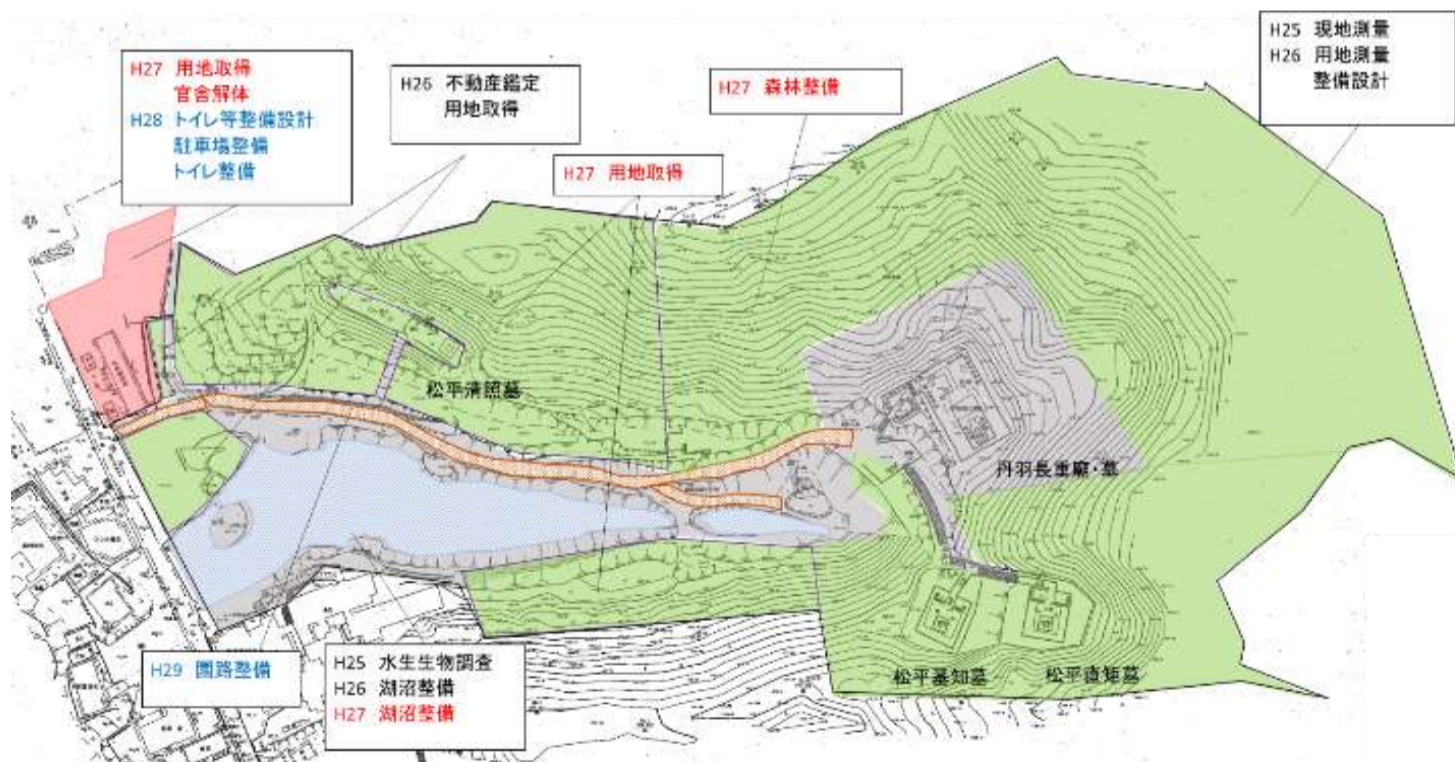
状況を示す写真や資料等



小南湖全景



官舎解体完了



全体計画図

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
		現在の状況	
都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路乙姫桜プロムナード2号・3号線は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路や現在整備中の歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

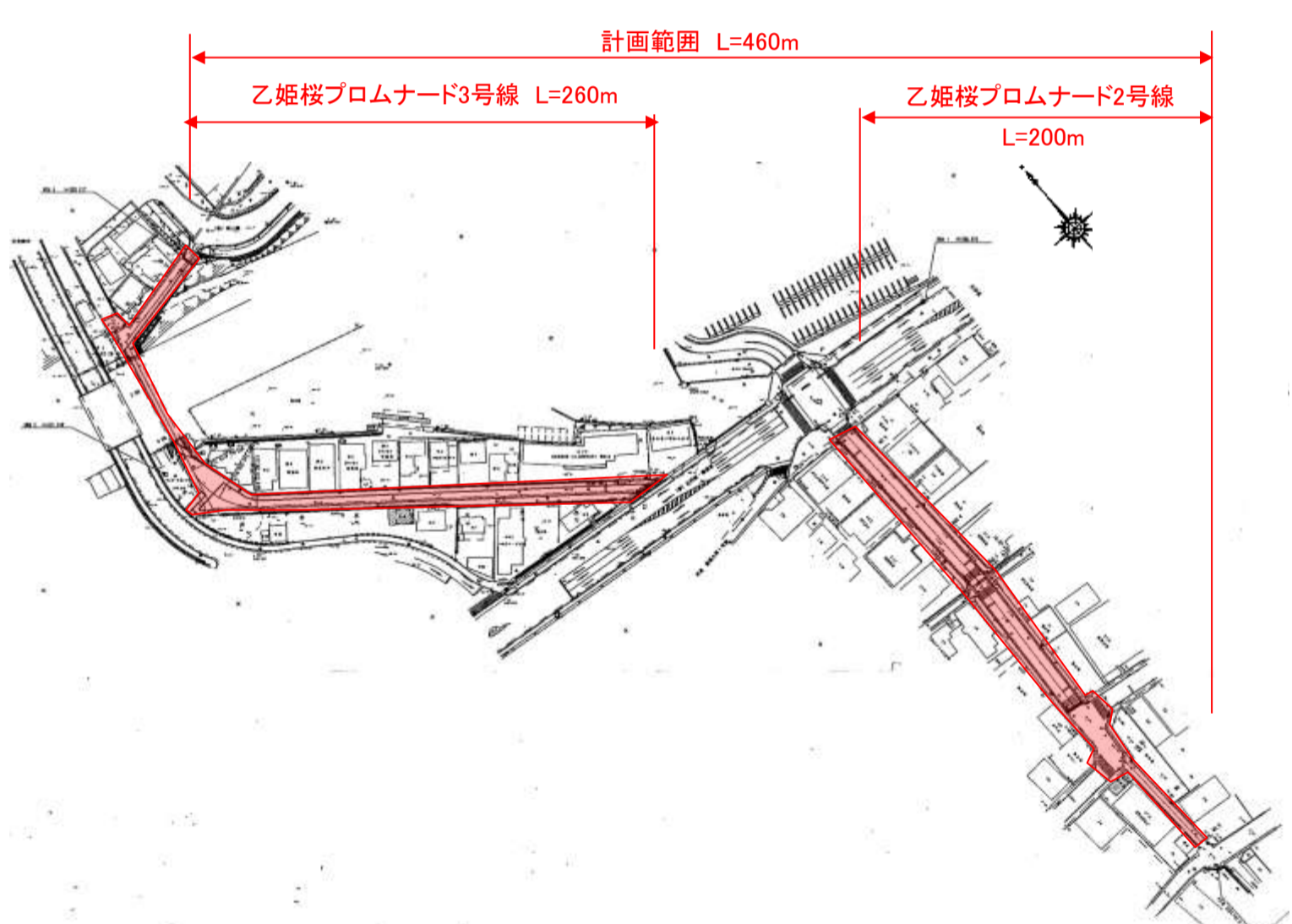
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

乙姫桜プロムナード3号線は、平成27年度の整備をもって完了した。また、乙姫桜プロムナード2号線については、用地測量業務を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真(一部動画)による活動内容の記録を行った。(38団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
板倉の天道念仏(表郷地域) 平成27年6月27日		日和田の数珠くり(大信地域) 平成27年8月2日	
			
竹ノ内盆踊り(表郷地域) 平成27年8月13日		入方のどうらんぶち(白河地域) 平成27年11月20日	

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
しらかわ無形民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体等を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(12団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
関辺のさんじもさ踊(白河地域) 白河関辺郷渡町内会: 行事实施・公開 平成27年7月5日		十日市ちょうちん祭り(大信地域) 十日市町内会: 行事实施支援 平成27年7月26日	
			
東釜子盆踊り(東地域) 釜子統一青年会: 行事实施支援 平成27年8月14日		中ノ沢権現梵天祭(表郷地域) 梁森青年会: 行事实施支援 平成27年9月19日	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

伝統的技術伝承事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的な建造物の修理等の際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催等により、修理工法の開発等や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上支援法人であるNPO法人しらかわ建築サポートセンターが主体となり、土蔵および古民家の修復工事現場においてそれぞれ実地研修を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



パネルによる説明(平成28年3月5日)



模型を用いた継手の説明(平成28年3月5日)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

白河歴史教科書作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間	平成24年度～
------	---------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成24年度、平成26年度)市単独事業(平成25年度～)
-------	---

計画に記載している内容	白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河歴史の手引き「れきしら」入門編及び上級編を有料販売することにより周知を図った。また、市内の小学校1年生から中学校3年生を対象に行われている「白河の歴史・文化再発見事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った(20頁参照)。

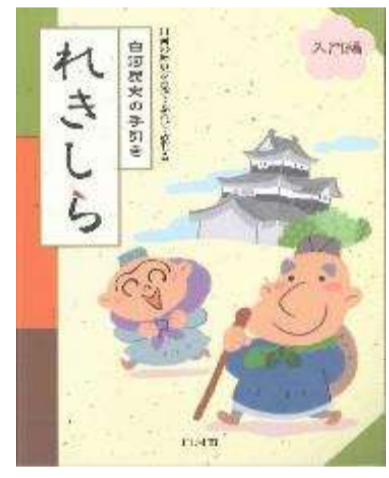
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

■白河歴史の手引き「れきしら」入門編

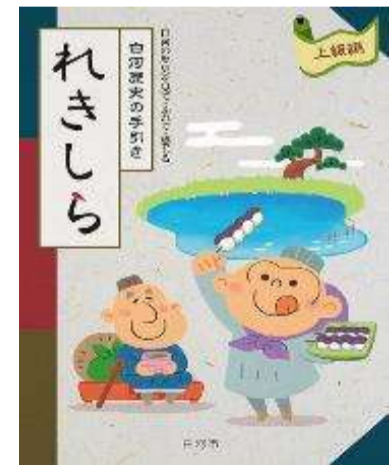
- ・販売実績(平成27年度)355冊
(平成26年度)200冊
(平成25年度)492冊
累計 1047冊



平成24年度作成 白河歴史の手引き「れきしら」入門編

■白河歴史の手引き「れきしら」上級編

- ・販売数:577冊(平成27年度販売開始)



平成26年度作成 白河歴史の手引き「れきしら」上級編

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

ぐるり白河文化遺産めぐり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

街なかにある寺社などの歴史的・文化的遺産をめぐるスタンプラリーを年2回開催した。また、スタンプラリー期間中、ぐるり白河文化遺産ツアーを開催し、春は小峰寺の文化財や道場町周辺の歴史的風致形成建造物を見学、秋は常宣寺の文化財や本町周辺の歴史的風致形成建造物を見学した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

《ぐるり白河文化遺産ツアー
「小峰寺の仏教美術と歴史的建造物」》
 ○開催日：平成27年4月19日(日)
 ○参加者数：41名



林家住宅建造物群を見学する参加者

《ぐるり白河文化遺産ツアー
「松平定信公と関係の深い常宣寺と歴史的建造物」》
 ○開催日：平成27年10月24日(土)
 ○参加者数：32名



常宣寺の文化財を見学する参加者



ぐるり白河文化遺産めぐりスタンプラリー台紙

《ぐるり白河文化遺産ツアーアンケート集計結果(抜粋)》

- 参加した感想：良かった 100%
- 自由意見：
 - ・白河の歴史と良さを再発見できました。
 - ・白河市に遺産が多くあることが分かった。
 - ・白河の歴史がわかり、白河が好きになりました。
 - ・ゆっくり白河のまだ知らないところを沢山見られて楽しかった。

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

白河の歴史・文化再発見事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間	平成25年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
 白河の歴史や文化について知識や見聞を広め、興味を喚起するとともに、自分の生まれ育った白河を愛する心を育てるため、市内の小学2年生から中学2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化について体験的な学習を系統的に行う。平成27年度からは、小学1年生から中学3年生まで対象を拡大して実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、白河語りの会、白河市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習を行った。また、平成27年度からは、対象を小学1年生から中学3年生まで拡大して実施し、小学1年生は「昔の遊びを知る」学習を、中学3年生は3市交流事業等で「白河の歴史・文化を発信する」活動を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「白河の歴史を再発見する」
 小峰城石垣修復現場見学(みさか小6年生)
 平成27年4月28日



白河の歴史の発信～白河・桑名・行田3市交流事業
 「白河歴史ウォークラリー」計画づくり(中学3年生)
 平成27年8月3日～5日



「伝統文化にふれる」
 翠楽苑の協力による茶道体験(釜子小5年生)
 平成27年5月22日



「昔遊び」(関辺小1年生)
 平成27年6月20日




学習成果を壁新聞にまとめ、市立図書館に展示
 平成27年8月28日～平成28年1月28日(全5期)



「白河の古代を調べる」
 (東中1年生)
 平成27年9月9日

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国指定史跡「小峰城跡」の石垣積替え工事を実施した。(5頁参照) 市指定重要文化財(建造物)「鈴木家住居」について、修復工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
「鈴木家住居」の修復			
			
修復前		修復後	
			
修復後(屋内)		萱屋根葺き替え見学会の様子	

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学べる展示を行っている。集古苑では、桑名市と合同の特別企画展「大定信展」を含め、企画展・テーマ展を計7回開催した。また、企画展にあわせ、展示解説会や講演会などを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
■歴史民俗資料館		H27年度 来館者数 2,635人	
会期	展示内容		
通年	平常展示 白河の歴史と文化		
■白河集古苑		H27年度 来館者数14,392人	
会期	展示内容		
3/26～5/10	【阿部家名品館】 企画展 桜・さくら ※平成26年度展示 【結城家古文書館】 重要文化財白河結城家文書と中世の美術		
5/14～7/26	【阿部家名品館】 伝来の遺宝とゆかりの刀剣 【結城家古文書館】 重要文化財白河結城家文書と中世の美術		
8/8～9/23	桑名市・白河市合同特別企画展「大定信展」		
10/2～11/23	企画展 白河ゆかりの江戸絵画		
11/27～ H28.1/11	【阿部家名品館】 伝来の遺宝と墨跡・文房具 【結城家古文書館】 重要文化財白河結城家文書と中世の美術		
1/29～3/6	特別企画展「松平定信とその時代」		
3/18～5/8	【阿部家名品館】 企画展 桜・さくら 【結城家古文書館】 重要文化財白河結城家文書と中世の美術		
			
歴史民俗資料館 平常展示「白河の歴史と文化」		白河集古苑 学芸員による展示解説会(「大定信展」)	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況

文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

計画に記載している内容
 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、市指定史跡「(伝)金売吉次兄弟の墓」において、火災防御訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者や地域住民と連携して、さらなる防災体制の強化に努める。
--	--------------------------------

状況を示す写真や資料等



文化財防火デー
 (平成28年1月24日:(伝)金売吉次兄弟の墓)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡では、三重櫓・前御門までの見学ルート of 修復工事が終了したことから、一般見学を再開できた。市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見! 事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および白河集古苑の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。また、歴史民俗資料館の事業として「美術・古文書講座」を開催し、文化財一般の知識や白河の文化財について学ぶ機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本丸および三重櫓が、平成27年4月より一般公開を再開したため、石垣修復現場の公開方法については、修復状況の進捗により適切な時期に公開する必要がある。

状況を示す写真や資料等



小峰城復興式
(平成27年4月19日)

- 小峰城復興式(平成27年4月19日)
 - ・復旧の完了した三重櫓・前御門、本丸南面、清水門跡、搦手門を一般開放した。
 - 当日の見学者数 約10,000 名

- 白河の歴史・文化再発見事業
 - ・小峰城跡・集古苑見学者数
市内の15の小中学校6年生を対象に公開を行った。
参加児童数 645 名
 - ・出前講座
市内の中学校の授業へ職員を派遣し、授業を行った。
開催内容 白河の歴史・白河の古代・小峰城の歴史・南湖公園の歴史・松平定信の業績
開催回数 のべ12回
参加生徒数 1,205 名

- 歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
 - ・平成28年1月～2月の期間中に絵画・仏像・古文書の3講座、計7回開講



白河の歴史・文化再発見事業
「小峰城跡本丸南面石垣復旧完了状況見学」
(平成27年9月11日 白河第三小学校 6年生)



歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
(平成28年2月24日 仏像講座)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「れきしら上級編」発売 古代～近現代まで 結城氏や小峰城 詳細に	H27.8.6	福島民報
旧商工会議所 山崎家 歴史的建造物に2件	H27.8.14	福島民友
白河市が「れきしら」上級編発売	H27.8.16	福島民友
歴史的資産で活性化 まちづくりシンポジウム	H27.11.18	建設工業新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「歴史的風致形成建造物保存修景事業」や「白河歴史教科書作成事業」の実施状況等が新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



平成27年8月6日 福島民報



平成27年8月14日 福島民友

定された「市歴史的風致維持向上計画」(市歴史まちづくり計画)の重点区域内の建造物が対象。指定を受けた建造物は30件増となった。

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成27年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
観光名所に再び輝き 市民、歴史ファン歓喜 白河の小峰城復興式	H27.4.20	福島民報	
白河「シンボル」三重櫓復活	H27.4.20	福島民友	
3市の中学生が交流 だるま絵付けも挑戦	H27.8.5	福島民友	
古里の歴史 壁新聞に 白河の児童作成 市立図書館で展示	H27.9.4	福島民報	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)」や「白河の歴史・文化再発見事業」の実施状況等が新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



平成27年4月20日 福島民報



平成27年9月4日 福島民報

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成27年度

項目

歴史まちづくりシンポジウムの開催

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

超高齢化社会に向けて、目指すべき市街地の将来像とそのためのまちづくり施策について考えるための「歴史まちづくりシンポジウム」を日本建築学会と開催した。(平成27年11月14日(土)来場者140名)
基調講演、各地のまちづくりの先進例の解説、パネルディスカッションを通して、まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

白河市市10周年記念事業 平成27年度歴史まちづくりシンポジウム
「超高齢化社会における歴史都市の住生活まちづくり」
市街地再生と住環境改善のロード・マップ

2015.11.14(土) 13:00~17:00(12:00開場)

会場：りあん(白河駅前)地域交流会議室

基調講演
司会者 鈴木和夫
講演者 津森俊英

パネルディスカッション
コーディネーター 村山肇人
コーディネーター 野崎謙二
コーディネーター 津森俊英 野崎謙二
コーディネーター 橋心治 有賀 隆

主 題 解 説
「各地のまちづくり先進例の解説」
講演者 野崎謙二
講演者 橋心治
講演者 有賀 隆

ま と め
司会者 益尾孝祐

入場料 0円/150円
白河市民 無料
日本建築学会
0円/100円/150円
0円/50円/100円
0円/50円/100円

【申込要】電話、ファックスまたはメールで事前に申し込みください

氏名	住所	電話番号



基調講演の様子



主題解説の様子
「各地のまちづくり先進例の解説」



パネルディスカッションの様子

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 平成28年2月26日(金)

(コメントの概要)

OP8「無電柱化調査事業」

・無電柱化事業は、道路や歩道の幅員を考えると、事業的に実施可能なのか。
 ・幅員が狭く電線共同溝を歩道に設置できない場合は、民有地を借りて設置する方法もあると思うが、住民の協力が必要になってくると思う。
 ・先進地では、地元から行政に無電柱化の要望があったとの話だが、白河市では地元の要望はあるのか。地域によっては、無電柱化に対する関心もあるところもあるので、具体的に市からこうした方が良いと案を示してもらおうと動きやすいのではないか。

OP18「白河歴史教科書作成事業」

・子どもたちの間でのれきしらの利活用は行っていると思うが、大人にも触れる機会を作ってほしい。例えば、公民館の事業で取り入れたり、ぐるり文化遺産ツアーの参加者に紹介したりしてみてもどうか。
 ・入門編、上級編を作成するにあたり、収集した膨大な資料を少しずつでも展示、アーカイブできるような方法を検討してみてもどうか。資料館の利活用にもつながるのではないか。また、白河駅周辺には図書館等の場所があるので、計画期間後半のソフト的な事業につながるようなアイデアを考えてみてはどうか。

OP19「ぐるり白河文化遺産めぐり事業」

・最近、御朱印めぐりの女性が増えている。小峰城には、売店に小さいスタンプしか置いてなかった。鶴ヶ城には、御朱印帳が設置されており、スタンプも置いてあった。小峰城の石垣が修復されると、これから多くの人を訪れるので、ぜひ小峰城にもスタンプを設置してほしい。今はインターネットで広まるので、若い女性など人がたくさん来るのではないか。

(今後の対応方針)

OP8「無電柱化調査事業」

・地元の要望は、まだこれからである。旧奥州街道は歩道が狭いので、地元の協力が必要であるため、勉強会等を行い、電線がない状態の提灯まつりやだるま市をイメージしてもらい、地元は無電柱化の意識を持ってもらうことが必要である。

OP18「白河歴史教科書作成事業」

・ぐるり文化遺産ツアーの参加者に紹介することや、資料館等に展示するなど、利活用について検討していく。

OP19「ぐるり白河文化遺産めぐり事業」

・小峰城にもスタンプを設置する方向で進めていく。